

がんゲノム医療従事者多職種合同セミナー

日時：2019年9月8日（日）

場所：岡山大学病院 総合診療棟西棟5棟

主催：国立研究開発法人 日本医療研究開発機構

AMEDゲノム創薬基盤推進研究事業

ゲノム創薬研究の推進に係る課題解決に関する研究

ゲノム医療従事者の育成プログラム開発（A-3班）

当日スケジュール

時間		内容
12:00～12:50	ランチオンセミナー	OncoGuide™ NCCオンコパネルシステム
13:00～14:05	第一部	多職種合同講義 ■ がんゲノム医療の流れ ■ がんゲノム医療と遺伝医療
14:30～16:30	第二部	職種別セミナー ■ 看護師 ■ 薬剤師 ■ 臨床検査技師

参加者について

職種	人数	備考
看護師	40名	
薬剤師	26名	
臨床検査技師	45名	学生 2 名含む
合 計	111名	

ランチョンセミナー

12:00～12:50



遠藤 岬



シスメックス株式会社
LS事業本部 LS市場開発部

OncoGuide™ NCCオンコパネルシステム

第1部冒頭



日本医療研究開発機構（AMED）
基盤研究事業部 バイオバンク課
朝重 耕一 先生からのコメント

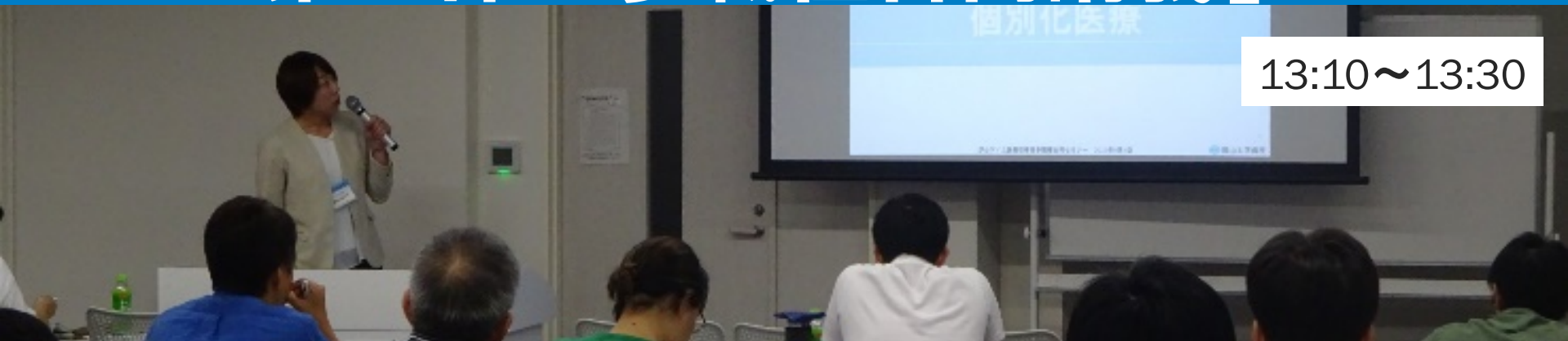


研究代表者 ビデオメッセージ

※海外出張中のため

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
呼吸器・乳腺内分泌外科
教授 豊岡 伸一

第1部「多職種合同講義」



13:10～13:30

がんゲノム医療の流れ

蓮岡 佳代子（岡山大学病院）
がん看護専門看護師

13:30～14:00

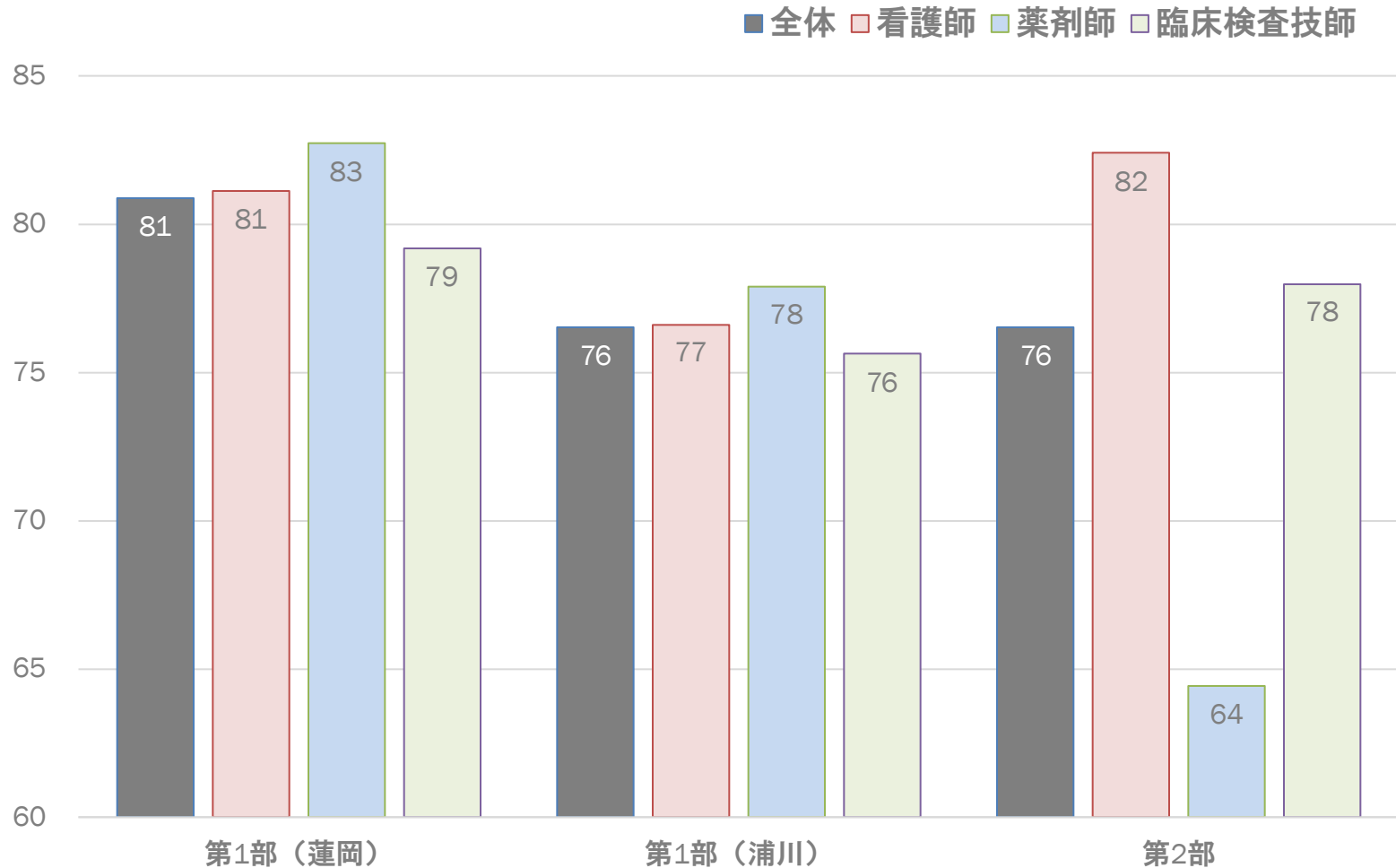


がんゲノム医療と遺伝医療

浦川 優作（兵庫県立がんセンター）
認定遺伝カウンセラー

理解度は？

アンケート集計結果



第1部へのコメント

アンケート集計結果

看護師（1/3）

1. 既知の内容だったが、情報・知識の整理になった。
2. 中核拠点病院で勤務していますが、ほぼがんゲノム医療に関して知識がないので、そのよいきっかけになったと思います。
3. がんゲノム医療が何となくわかった気がする。今回興味を持ったので、勉強を続けていきたい。
4. 体細胞変異と生殖細胞系列変異についてきちんと理解しないといけないこと、わかりやすく説明していただけて理解できたと思います。
5. 「がんゲノム」という言葉・内容についてほとんど知らなかったもので、今回勉強してよかったです。ありがとうございました。
6. 具体的なゲノム外来の一連の流れがわかって、患者への説明に役立たせることができると思えた。当院からは岡大へ紹介してのパネル診断になるので、その方法や要する期間など必要な情報を得ることができた。
7. がんゲノムの基礎について、改めて学習席る機会があってよかったです。
8. どちらもわかりやすい講義だった。遺伝のことがきっともっと奥深いのでさらに学んで行くことが必要だと感じた。
9. システムなど、非常に勉強になった。100%の理解と書いてないのは、〇〇かもなので75%にしています。
10. 遺伝に関する情報や検査の流れがわかった。生殖系列の遺伝に関しては難しい問題と実感した。

第1部へのコメント

アンケート集計結果

看護師 (2/3)

11. 言葉の整理ができた。また、実際のゲノム外来の流れを知ることができ、少しイメージできた。
12. わかりやすい講義資料でした。
13. 説明がわかりやすく理解しやすかったです。ポイントが簡潔にまとまっていたと思います。
14. がんゲノム医療の基本的なことは理解できたように思うが、くり返し学んでいく必要性を感じた。
15. 浦川先生がおっしゃったように何度でも受講・学習しなければ理解できない分野だと思います。もっと詳しく学びたいと思います。
16. ゲノム医療と遺伝医療について全く同じようにとらえていたが、違いが少しわかった。
17. 横文字など意味が充分わからない言葉も多かったが少しだけ概要は理解できたと思う。
18. 遺伝性腫瘍がわかった際、自分もネガティブにとらえていました。せっかく得た情報をできる限り有効に伝え予防など対策をとれるよう考えていかなければならないと思いました。
19. 連携病院ですがまだ実際の患者さんには関わっていないですが、わからないことばかりで今回のセミナーは大変勉強になりました。
20. ゲノム、遺伝といったことばの違いや、成り立ちがわかりやすかった。結果説明における言葉の使い方、ネガティブな理解とならないような話の流れにもっていくことが大切だとわかりました。

第1部へのコメント

アンケート集計結果

看護師 (3/3)

- 21. 基本がよく学びました。
- 22. セミナーに何度か参加させて頂いているので、よく理解できました。
- 23. ひきつづき、学ぶことが大切
- 24. 専門用語、略語が多くて、意味・正式名称がわかると覚えやすいのではと思いました。
- 25. 資料が欲しかったです。メモがついていけないので。言葉が理解できないまま講義を聞くとその時点から説明が入りにくくなってどんどんわからなくなってしまいます。

第1部へのコメント

アンケート集計結果

薬剤師 (1/1)

1. ゲノム医療と遺伝医療の違い、かかわりあいがよくわかりよかった。
2. がんゲノム医療について初めて講義を受けましたが、とてもわかりやすく興味を持って拝聴できました。
3. 基本から現場の流れまで理解深まりました。
4. カウンセリングの実際などについて具体的にお聞きしてみたかったです。
5. がんゲノム医療について、遺伝医療について、よく理解することが出来ました。
6. 現場レベルでのさまざまな意見が聞けてよかった。
7. 大変勉強になりました。
8. ほぼ0から学びに来たので、流れ、用語を知ることができよかった。
9. できるだけ解り易く、基本的な事からご講義頂けたと思います。
何度も聴講していく必要があると思いました。
10. 実際の治療の流れや基本的なところを教えて頂き勉強になりました。

第1部へのコメント

臨床検査技師（1/3）

アンケート集計結果

1. エキスパートパネルについてよくわかった。結果を早く知りたい患者にとってはできるだけエキスパートパネルを早く開いたほうがいいが、多職種によるものなので、予定を合わせるのが大変な印象。
2. ゲノム医療に関する言葉の違いについてよくわかった。遺伝カウンセリングにおいて、
3. 何が行われているか理解することができ、患者に説明する時の言葉えらびの注意や重要性については慎重に行わなければいけないと認識した。
4. 患者様からお預かりした検体を適性（適正）な検体として提出することが大変重要であると感じました。
5. 大まかにわかっていたことをもう一度聞けて少し整理できた。浦川先生はとても分かりやすかった。
6. とても分かりやすい講演でした。遺伝性腫瘍やがん遺伝子について以前より理解することができました。
7. がんゲノム医療の流れを分かりやすく説明してくださって、病理の立ち位置がよく分かった。遺伝の基礎を学べて非常によかった。
8. カウンセリングについてもっと具体的に知りたかったです。
9. 基礎を分かりやすく解説して頂き、大変勉強になりました。検体の取り扱いの重要性を改めて認識できました。顧客に還元できるよう努めていきたいと思います。
10. 勉強を始めたばかりなので、がんゲノム医療の内容が理解できました。

第1部へのコメント

臨床検査技師（2/3）

アンケート集計結果

11. 当院では行っていないがんゲノム医療について、医療従事者目線だけでなく、患者さん目線での医療の流れについて知ることができました。
12. テストをする事で、自分の認識の再確認が出来ました。
13. 短い時間の間に、わかりやすく説明していただき、役に立った。
14. わかりやすく、講義していただきありがとうございました。
15. 何回か講義を受けて、少しずつ理解していく必要を感じる。
16. 流れ、遺伝子の事、少しずつ理解出来ました。
17. ゲノム医療外来の流れがよくわかりました。当院のフローにも参考にさせていただきます。
18. 遺伝医療では、患者さんにどう伝えることが大切なのか、言葉や表現を考えて説明することが重要と思います。遺伝性腫瘍はリスクは高いけど、対策がたてれるということがわかりました。ありがとうございました。
19. 「がんゲノム医療の流れ」岡山大学病院での流れがわかってよかったです。
20. 「がんゲノム医療と遺伝医療」二次的所見を体質の1つとして捉えることが印象的でした。
21. 遺伝子の基本をわかりやすく聞けてよかったです。
22. 浦川先生の体細胞変異と生殖細胞系列変異の違いをわかりやすく教えていただきました。ありがとうございます。
23. 〈流れについて〉生の患者さんの声が提示してあり理解が深まった。がんゲノム医療外来の図が何度も出てきたが、どの部分の説明かや、何度も○図の違いがわからず困った。
24. 〈遺伝医療〉穏やかで、わかり易く説明して下さって大変勉強になりました。

第1部へのコメント

臨床検査技師（3/3）

アンケート集計結果

- 25. 遺伝子の基本をわかりやすく聞けてよかったです。
- 26. 浦川先生の体細胞変異と生殖細胞系列変異の違いをわかりやすく教えていただきました。
ありがとうございます。
- 27. 〈流れについて〉生の患者さんの声が提示してあり理解が深まった。がんゲノム医療外来の図が何度も出てきたが、どの部分の説明かや、何度も○図の違いがわからず困った。
- 28. 〈遺伝医療〉穏やかで、わかり易く説明して下さいって大変勉強になりました。

第1部へのコメント

アンケート集計結果

その他（1/1）

1. 遺伝カウンセリングを受けられる患者さんの感想や、遺伝に関する所見に対する考え方が多様であることを実感しました。

第2部へのコメント

アンケート集計結果

看護師（1/3）

1. グループワークの時間が短かった。講義についてはわかりやすかった。グループワークの進め方を提示して欲しかった。
2. 今後拡大していくがんゲノム医療に関して学べるよい機会となりました。
3. 他施設の方の話もきけてよかった。
4. 色々な立場の方とお話できて意見をきき参考になりました。
5. グループワークがなかなか経験に乏しい症例で難しかったが、学びが深まった。
6. 事例を通して、どのようなケアが必要かをレクチャーしていただき、自分達がなすべきことがよくわかりました。
7. GWを通してがん看護について役割や視点を考えることができた。自施設でも参考に取り組んでいきたい。
8. GWをする機会があって、話し合いの中で理解を深められてよかったです。
9. 他施設での状況等を知ることができ、大変興味深く参考になった。
10. いいことと、悪いことがあるということを、しっかり伝えないといけない。伝え方がむずかしいと思いました。

第2部へのコメント

アンケート集計結果

看護師 (2/3)

11. グループワークの前に本日大川先生が具現化して事例をあげ講義をして下さり、よりグループワークで活用できよかったです。
12. 患者本人のみでなく、血縁者も含め、リスクのあるFaへの伝え方が重要と思った。知りたい・知りたくない、伝える・伝えないなど、人権や倫理にかかわる問題なので、慎重に対応する必要があると思った。
13. 短い時間のグループワークでしたが、具体的にどうかかわっていくか、振りかえられた。家族歴の大切さがわかった。
14. 看護師として遺伝子検査の背景を把握することの意味がわかった。看護としての介入が重要であり、サポートで患者に寄りそうことができ、患者の大事にしていることへの支援ができると思う。グループワークは語ることで理解が深められたのでよかった。
15. 事例をもとにした講義は非常に理解しやすかった。グループワークでも、現場の話も情報交換でき勉強になった。ゲノムについてわからなかったことが少し理解でき、自分のやるべき事が見えてきたのでよい時間が持てた。
16. わかりやすい講義でした。もう少しグループワークで遺伝看護について深められるとよかった（治療や療養のことが中心となってしまうため）
17. 他施設の方と共有できることも多くよかったです。
18. GWの時間がもう少し欲しかった。
19. グループワークも含め看護師のがんゲノム医療における役割の重要性がわかった。自分の学びを深め患者・家族に正しい情報を提供し、個々に合ったサポートをしていけるようになりたい。
20. グループワークの意見は現場に活かしていける参考点が多かった。

第2部へのコメント

アンケート集計結果

看護師 (3/3)

21. 内容が理解できたかと言われたら、奥が深く、一度では難しい内容でした。しかしこれからもっと深めていきたいと思いました。
22. 他の施設、他の分野の方の情報がきけ、大変良かった。
23. 色んな人の意見を聞いて看護してどういうことをすればよいのか、改めて考えることができ、よい機会になったと思う。
24. 具体的なケアを学べよかった。
25. 実際にグループワークを行い、検査前の説明、確認が大切だと思いました。しっかりと患者の声に耳を傾けていきたいと思います。
26. わかりやすい資料と、ポイントが十分に記載されていて、とても参考になりました。
27. この分野の看護のポイントを学ぶことができました。
28. とてもわかりやすかったです。言葉一つ一つの説明をすることの難しさを感じています。例えば、「カウンセリング」は精神科を受診する人が行く所と思っている人や、体細胞系、生殖細胞系、パネル検査、コンパニオン診断、それぞれの違い等。
29. 情報収集しアセスメントし、ケアを行うことの重要性を理解できた。
30. 情報収集の重要性と、ご本人・家族への関わりの重要性と難しさを感じました。連携の重要性を感じました。

第2部へのコメント

アンケート集計結果

薬剤師 (1/2)

1. 有用な情報を沢山ありがとうございました。レポートの読み方については、もう一度勉強したいと思ったのでハンドアウトがあるとよりよかったです。
2. アレル頻度のところからわからなくなっていました。もっと勉強しようと思います。
3. たくさんの情報を提示いただき大変勉強になりました。多くてすべてを理解するのは難しいので、復習のために事前資料があると助かりました。
4. 基礎的なところを学ぶことができてよかったです。
5. 配布資料が、使用されていた内容よりもかなり情報量が少なく、後日見てもきっとわからないと思います。記入もむずかしかったですし・・・。その辺りからわからなくなりました。
6. 薬剤師としてどのように関わっていくかの足がかりになりました。もっと色々と考えてみたいと思います。
7. これからエキスパートパネルに参加出来るよういろいろと勉強していきたいと思います。
8. 大変わかりやすかった。
9. 薬剤師の役割を考えなおすきっかけとなりました。
10. エキスパートパネルでの役割を具体的に知ることができてよかった。

第2部へのコメント

アンケート集計結果

薬剤師 (2/2)

11. 内容がやや難しくハンドアウトがほしかった（事前にCHECKできるように）。
12. 遺伝子についての勉強をすすめていく必要性をかんじました。遺伝子、ゲノムについて、知識にもとづいて活動されているのを今回のせつめいでかんじました。
13. 後日でも結構ですので、開示可能なハンドアウトをメールにて送って頂ければ幸いです。
14. 薬剤師としては、レポートが来てから、その患者さんへどのような治療を選択するかという所で職能を発揮すべきではないかと思います。むずかしいかもしれませんが、具体的なレポート結果とそれを元に行われたエキスパートパネルの内容を多く照会いただけると助かります。
15. 自分自身がもっと学習しておく必要があると感じた。ガンゲノムの診療が本格的に始まってから見えてくる課題も多々あると感じました。
16. 遺伝子解析結果レポート情報の読み取り方を教えて頂き、大変勉強になりました。

第1部へのコメント

臨床検査技師（1/3）

アンケート集計結果

1. 病理の業務にはついていないのでホルマリンについては難しかったが、科を越えての連携は大事だと思った。多職種をまき込んだ医療体制が必要。
2. 色々な施設の現状を聞けて良かったです。
3. 今後に向けて課題がたくさんできました。臨床へも協力をお願いし、より適性（正）な検体作製に努めます。
4. 他施設の話聞いてよかった。自分たちの施設はまだゲノム医療に関わっていないので、これからどうしていくか課題もみえた気がする。
5. 現状の問題点や他施設の話も聞けて、とても勉強になりました。
6. 他施設の現状をたくさん聞けてよかった。
7. 他院の話も聞けてよかった。
8. 他院の話を色々と聞けて良かったです。
9. 病理部の検査技師ではないが、現状の問題点がよく理解できた。
10. 実際に運用をしていって、自分自身理解を深めていけたらと思いました。

第1部へのコメント

臨床検査技師（2/3）

アンケート集計結果

11. がんゲノム医療における検査部の役割が理解できました。手順書を整理し、適切な検体を作成できるようにしていきたいと思います。
12. 日頃病理に携わっていないので、今日は非常に勉強になりました。
13. より検査技師に寄りそった内容で具体的にがんゲノム医療の中での検査技師の立ち位置が理解できた。
14. 他病院の悩みなどいろいろな情報共有ができました。
15. いろいろな施設の現状を聞けて良かったと思います。
16. 今まで聞いたことのある内容が多かった。他施設の現状を聞く機会があったのはよかった。
17. 色々な意見を聞かせていただき、ありがとうございました。参考になりました。
18. 現状の問題点について、臨床医、病理医等との協力体制が必要。
19. 他施設の状況等の確認が出来、明日からの業務に反映出来ます。ありがとうございました。
20. いろいろな施設の状況を知る機会になりました。ありがとうございました。

第1部へのコメント

臨床検査技師（3/3）

アンケート集計結果

21. 大学教育をする中でも、ゲノム医療について触れているが、実際のところがよくわかり、形態学＋遺伝子解析についての基礎的な知識が益々重要になると思った。
22. 自施設はしっかりめにプレアナリシス・アナリシスを行っていると思っていたが、より運営に努力している施設があることを知れたので参考にしたいです。
23. もう少しディスカッションに時間が欲しかった。
24. 意見をまとめるのが難しかったが、問題点はどこも同じような悩みをもっていることがわかってよかったです。
25. これから何が必要かよくわかりました。中核Hp、拠点Hp、連携Hpで必要な人材を知りたかったです。連携Hpでレアな職種が必要ですか？

今後実施して欲しい勉強会内容について

アンケート集計結果

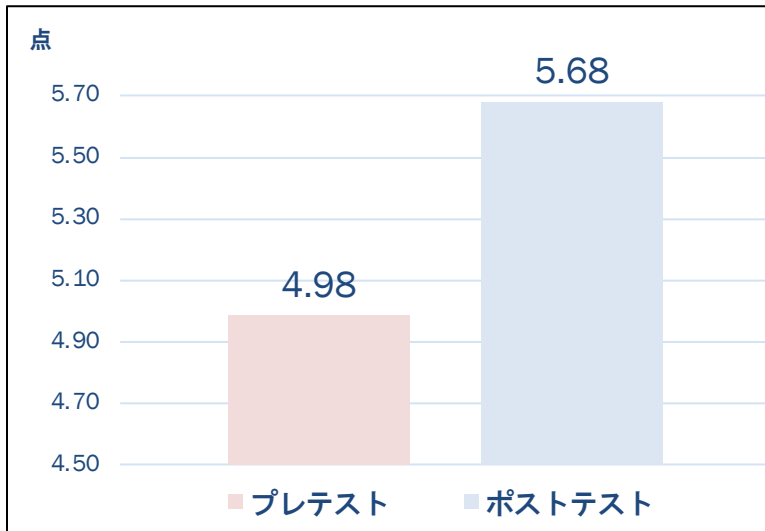
1. NCCに集まったビッグデータの活用用
2. AIの検査科への影響（メリット、デメリット）。導入はありうるか。
3. 失敗談、意外な成功談
4. 他施設と情報共有できる場となりました。今後もこのような会をお願いします。ありがとうございました。
5. 実際の検体でどの程度DNAが保持できているかなどのデータなども教えてほしい。
6. 遺伝子検査の勉強会

プレテスト・ポストテスト集計

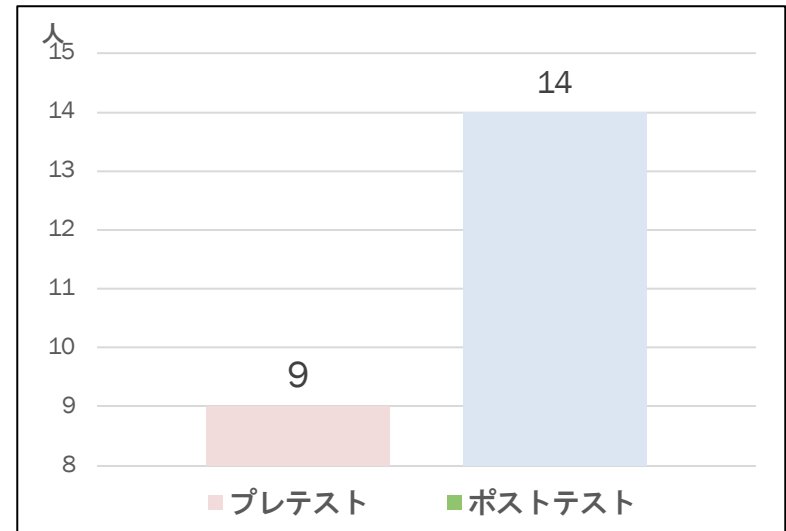
解答者数：108名

テストは7点満点です

■ 平均点比較



■ 満点者数比較（増加数）



学習効果

99名中88名が
プレテストよりポストテストの点数が良かった

※もともと満点だった人は除いています

第1部 講師コメント



蓮岡 佳代子

岡山大学病院 腫瘍センター（がん看護専門看護師）

第一部では、がんゲノム医療外来の流れ、遺伝カウンセリングについて知る機会となり、直接関わらない職種もがんゲノム医療の実際の受診の概要がつかみやすかったのではないかと思います。第一部で遺伝についての内容を盛り込んでもらっていたので、第二部の講義内容が理解しやすかったのではないかと思います。

第2部ファシリテーターとして、

第二部では、これまで学ぶ機会の少なかった遺伝看護の基礎知識について講義を受け、その後に事例を通して看護支援を考えるなかで、基礎知識を具体的な看護へ落とし込むことができたと思う。また、グループワークを通して多施設の看護職と意見交換できるよい機会になったと思う。進行について、講義からグループワークへの移行がスムーズにいかなかった場面があったため、ファシリテーターの進行に関する打ち合わせをもう少し密にしておくとうまく進むことができたように思われるため、次回以降に活かしたい。



浦川 優作

兵庫県立がんセンター（認定遺伝カウンセラー）

看護師、薬剤師、臨床検査技師と普段は業務を一緒に行うことのない職種が、がんゲノム医療のセミナーで一緒に学ぶ機会は少ない中で、特に後半の職種ごとのグループワークでは、それぞれの職種だからこそディスカッションできる内容が多く、すぐに現場で活かすことのできる話し合いができていたように感じました。一方で、せっかく多職種で盛り上がったグループワークでの結果を、他の職種とも情報共有できるように、最後に互いに報告ができる機会を設けることも必要ではないかと思いました。多職種合同で行うメリットを生かし、他の職種からの要望や課題点を共有できればさらにこのセミナーが充実すると考えます。

第2部 講師・ファシリテーターコメント

看護師（1/2）



大川 恵（講師）

聖路加国際病院 看護部（遺伝看護専門看護師）

今回のセミナーでは3職種合同の講義と職種別の講義があり、質的にも効率的にも充実していたと思う。さらに改善を検討するとすれば、最後にそれぞれの職種がどのような課題を見出し、どのようなことに取り組んでいこうと話し合ったのか、その内容を3職種でシェアする場が設けられるとさらに良いと思われる。

「がんゲノム」という共通の課題に、自分たち以外の職種はどういったことに疑問を感じ、課題として認識しているのかということを知ることは、互いの専門性を見直す機会になり、チームで取り組もうという姿勢にも良い影響を与えらると思う。



日下 咲（第二部 ファシリテーター）

兵庫県立がんセンター（がん看護専門看護師）

ファシリテーターとして参加させていただきましたが、講義を一緒に聞かせていただき、情報交換ができて私自身にとっても貴重な学びの機会になりました。

参加者の皆さんが真剣に講義を聞かれ、ディスカッションされている様子を見ていて、がんゲノム医療に関心を持っている仲間がたくさんいるのだなと感じ、うれしくなりました。

職種別に分かれることで、看護師としてどんな支援ができるかをディスカッションできたのはいい機会になったと思います。

今後もこういった研修を継続しながら、他施設の看護師同士での看護連携や継続支援につなげられたらいいなと思います。

第2部 ファシリテーターコメント

看護師 (2/2)



松本 仁美 (ファシリテーター)
製鉄記念広畑病院 看護部 (がん看護専門看護師)

コンパニオン診断の結果によって治療選択される場面もがんの臨床では増えてきたことで、専門部門以外の病棟や外来に従事する看護師の関心も高まっており、本研修は学び始めの人も参加しやすいものであったと感じました。同一の職種に分かれてのグループワークを通じて、参加者同士が自分自身の学習のモチベーションやそれぞれが所属する組織の状況について情報交換や思いを共有する場になり、日々の臨床において、自分自身の立場での課題を見つける機会になっていたように感じました。



西本 仁美 (ファシリテーター)
岡山大学病院 腫瘍センター 看護師長

プログラム前半は、各職種共通の内容で理解の深まる良い流れだったと思います。
後半は、各職種に分かれ、看護師は、講義で遺伝学の基礎と遺伝看護の視点について学び、事例検討をおこないました。今回の参加者はまだがんゲノム医療の実務に携わっていない看護師のほうが多かったですが、基本的な知識を活かし、事例を深めれたと感じました。また事例検討の中で、情報共有し、地域でつながる機会にもなったのではないかと思います成果が得られたのではないかと考えます。
私自身もファシリテーターとして参加し、他施設の状況を知ることができ、患者様へ継続した看護を提供していくための情報提供の重要性を再認識することができました。今後、アドバンスコースがあるとしたら、各職種1組のチームで参加すると、他の職種の内容も学ぶこともできて、より一層、お互いの専門性や役割の理解が深まり課題が明確になり、チームメンバーの相互理解が深まるのではないかと思います。

第2部 講師コメント



薬剤師（2/2）



武田 達明（講師）

岡山大学病院 薬剤部 薬剤師

今回のがんゲノム医療従事者多職種合同セミナーの薬剤師向けの第二部では、がんゲノム医療に関わっていくための基礎知識習得のための講義を行った。現状、薬剤師はがんゲノム医療への関心がまだまだ低いように感じている。

また、がんゲノム医療における薬剤師の役割は確立したものはない。本セミナーでは、参加者が薬剤師の役割について考えるきっかけになったことと思う。薬剤師が活躍していけるように、今後も薬剤師向けのセミナーなどを開催していきたい。

第2部 講師・ファシリテーターコメント

臨床検査技師（1/2）



井上 博文（講師）

岡山大学病院 医療技術部 臨床検査技師

第二部2時間の中で講義、グループワークを行った。始めの30分でがんゲノム医療における臨床検査技師の役割を説明、これまで講義で言っていなかった今後検査技師に取得が期待される資格を紹介した。グループワークでは検体処理における問題点、他部署との協力体制について各施設の問題点を提起し解決に向けた今後の取り組みなど情報共有を図った。グループワークでは活発な討議がなされ自発的に発言が見られた。「時間が足りない」とのご意見もいただき情報共有の場を設ける必要性を感じた。

第2部 講師・ファシリテーターコメント

臨床検査技師（2/2）



松岡 博美（ファシリテーター）
岡山大学病院 医療技術部 臨床検査技師

セミナーの進行が一斉講義から職種別講義へというのは良かったと思います。
ランチョンセミナーでの開始も時間管理の点から良かったと思います。
臨床検査技師のグループワークに参加したのですが、予想していたより随分活発に発言されていました。
問題点はほぼ共通しているので他施設の対策や対処法を聞くことが出来たので私自身も勉強になりました。参加者の方々も同様に感じられていると思います。
今後は事前アンケート等で問題点を幾つか挙げてグループごとにテーマを変えたり、同じ施設からの参加者はグループを分けても良いかもしれません。
台風の影響で仕方ないのですが、プレゼンの時間をもう少し取って他職種のまとめも共有出来れば良かったと思います。



實平 悦子（ファシリテーター）
岡山大学病院 医療技術部 臨床検査技師

まだまだ、何もわからないままお手伝いという形で参加させていただきましたが、大変勉強になりました。
病院の規模により、温度差を感じました。小規模病院ほど、検査技師の関与する項目も増え、新しい知識の習得は必要と感じます。
これからの業務に関する情報をお互いに共有できる場だったと思います。ありがとうございました。

総括

2019年9月8日（日）に「第1回 多職種人材育成セミナー」を実施した。

冒頭、AMEDの朝重様からA3班の研究開発目標の概要説明と参加者への激励を頂いた。続いて研究代表者の豊岡先生からビデオメッセージの挨拶があった（海外出張中のため）。

第1部として、プレテストの後、蓮岡様より「がんゲノム医療の流れ」について、続いて浦川様から「遺伝医療」についてご講演を頂き、その知識の定着を目的に、ポストテストを実施した。

第2部は、看護師・臨床検査技師・薬剤師と職種ごとに分かれて、座学やグループワークを実施し、第1部の内容と職種毎の経験を踏まえた議論を展開することで、がんゲノム医療における参加者の役割と今後の課題について理解度を深めた。

ランチョンセミナーとあわせて、約4時間の研修会となったが、非常に参考になった、大変勉強になったとの声を多数頂いており、ここにまとめたプレ・ポストテストの結果とアンケート結果をふまえて、第2回が多職種セミナーの一層の充実をはかりたい。

講師として登壇して頂いた皆様、受付や資料の作成に尽力頂いた皆様の支援に感謝申し上げます。

プログラムコーディネーター
岡山大学病院 ゲノム医療総合推進センター 准教授
富田 秀太